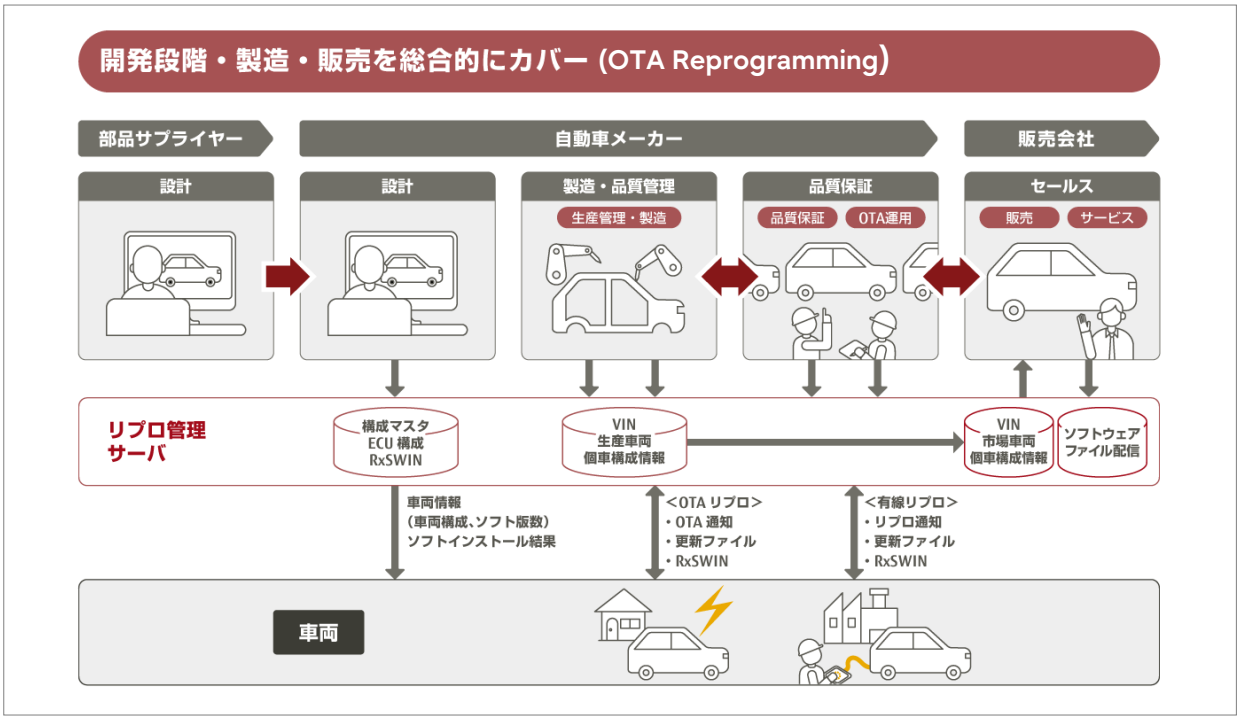
Software Defined Vehicle

富士通独自の差分生成・圧縮技術やセキュアな配信技術で、高速かつ安全・確実な無線通信によるソフトウェア更新 (OTA Reprogramming)

富士通が提供する無線によるソフトウェアアップデート（OTAリプログラミング）は、スマートフォンの開発を通じて培ったノウハウを活用したセキュアな配信技術を用いています。
ECUのソフトウェアアップデートに関しては、国連によるWP.29規制化のもと、グローバル、日本での法制化が進んでおり、法規制に基づいたソフトウェアアップデートマネジメントシステムを実現します。



- 富士通のスマートフォン開発で培ったOTAノウハウを活かし、モビリティ・IoT製品におけるOTAサービスを実現
- WP.29要件（UNR156:ソフトウェアアップデート）における有線リプロも含めた統合管理システム構築が可能
- 既存システムとの接続を前提とし構築しているため、システム連携も容易

お客様メリット

ソフトウェア更新

高速かつ安全・確実な自動車ECU（電子制御ユニット）のソフトウェア更新を実現

アップデート管理

法規制に基づくアップデート情報は、OutCarセンターで管理可能

生産性の向上

開発中からユーザー納入後まで、時間と場所を限定しないソフトウェアの更新可能

お問い合わせ先

富士通株式会社

クロスインダストリーソリューション事業本部 Trusted Society事業部

E-mail：fj-TS-SDV@dl.jp.fujitsu.com

製品ホームページ：https://www.fujitsu.com/jp/solutions/business-technology/future-mobility-accelerator/ota/

© 2025 Fujitsu Limited